

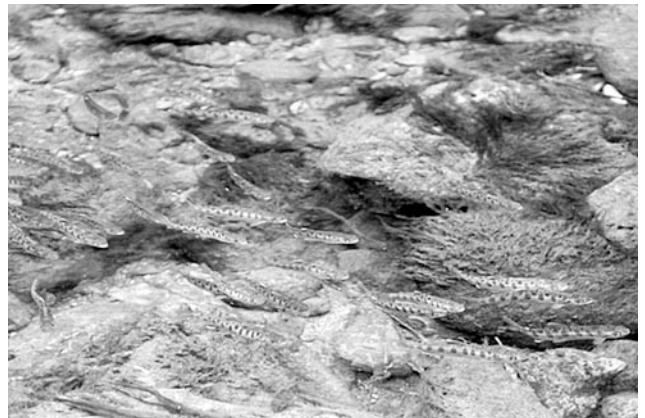
漁獲量の増大を目指しサクラマス稚魚 10万尾放流 ～サクラマス稚魚放流式～

7月10日、村水産振興推進協議会（越善靖夫会長）主催により、老部川内水面保護水域において、サクラマス稚魚放流式が行われ、平均尾叉長6.3cm、体重3.5gの稚魚6万尾が村内漁業協同組合長、むつ水産事務所、東北・東京電力など関係者約50名の手により放流されました。

稚魚は小老部川と野牛川にも既に各2万尾を放流しており、今期は合計で10万尾の放流を実施しました。今年で16回目となるこの放流事業はサクラマス漁獲量の増大を目的に行っている事業であり、村としても「つくり育てる漁業」の重要な魚種として、今後も資源の増大を図っていきたいと考えています。



関係者による放流



放流されたサクラマス稚魚

小さな僕らの 大きなハート～みんなの心 一つになって～ ～第2回こども園ひがしどおり運動会～

7月6日、村体育館において、第2回こども園ひがしどおり運動会が、『小さな僕らの 大きなハート～みんなの心 一つになって～』のテーマのもと開催されました。

格好よくきまった鼓笛隊の指揮と演奏とともに開会式が始まり、遊戯や障害走、リレーなど、たくさんの競技が行われ、0歳児から5歳児まで総勢207名の園児が、一生懸命走ったり踊ったりしました。

0・1歳児は競技中に泣いてしまいがちながらも、先生やお父さん・お母さんに手を引かれながら一生懸命に踊ったり、走ったりしていました。3～5歳児は、お兄さん・お姉さんとして元気いっぱいに踊りを披露したり、難しい障害走に挑戦していました。また、今年は、昨年は5歳児として運動会に参加していた東通小学校1年生が特別参加。小学校に入って3ヶ月ちょっとですが、立派に成長した姿を先生や園児たちに披露しました。

児童たちは、テーマのとおり友達と心をつなげて楽しみ、思い出に残る楽しい運動会となりました。

